

日常生活に潜む 児童虐待にご用心！

「おぎゃおぎゃ」と産声を上げ、各世帯で慈しまれる過程で、社会に出て困らないように並行してしつけも始まります。どうしても自分の子どもに向ける目は厳しくなるのですが、何にでも当てはまるように「度が過ぎる」と害しか残りません。

児童虐待は出生から12歳までの間に多く発生しています。子どものペースに合わせ日常を送ることは大変なことですが、幼子が欲しているのは愛情です。

日本国内において、近年、痛ましい虐待死が発生しています。子どもが死んでしまうまで、暴力を止めることができなかった「親」。逃げることもできなかった「子ども」。守ることができなかった「社会」。虐待は、家庭の役割である「安全」と「安心」の機能不全をもたらしています。子どもにとって家庭の「安全」、「安心」が基盤となり、安定した精神や心理が育まれます。幼子が恐怖に怯え、恐怖と対峙していると思うだけで身が裂ける想いを誰もが感じると思います。

大げさですが、子どもの様子がふに落ちなかったら、病气、家庭環境、学習、友人関係に加え虐待を疑っても過言ではない社会を迎えています。

「おやっ」と感じたら、連絡をお願いします。

〈相談連絡先〉・児童相談所 全国共通3桁ダイヤル 189・住民福祉課 福祉係 Tel (67) 2702

旧立野小学校で風力発電



地域創生に向けて、株式会社リアムウィンド（九州大学発ベンチャー）が、旧立野小学校グラウンドに小型風車を設置しました。

今回設置されたのは「10キロワットマルチレンズ風車」1台。

この小型風車は以下の目的で今後運用される予定で、来年2月まで実証実験が行われた後は村に譲渡されます。

- ・再生可能エネルギーを推進し、実証後に立野地域復興の一助とする
- ・指定避難所である立野小学校の非常用電源としての利用を検討
- ・立野地区の中でランドマークとなることが期待される
- ・「まつぼり風」と呼ばれる立野地区の風の有効活用

〈問い合わせ〉政策企画課 企画係 Tel (67) 2230

7月に締結した上天草市と南阿蘇村の包括連携協定に基づく交流として、10月8日、同市の前島観光交流活性化施設「ミオ・カミーノ天草」落成式後のアトラクションに、長野岩戸神楽が出演しました。



観光交流・販売・体験機能をもつ
「ミオ・カミーノ天草」

上天草市で長野岩戸神楽公演
〈上天草市観光交流活性化施設落成式〉



海と4号橋（前島橋）に臨む
シーサイドデッキで舞われた
長野岩戸神楽